令和6年(2024年)12月号 和歌山市立宮小学校









めざす児童像

- ☆ 向上心をもってがんばる子
- ☆ 心が豊かでやさしい子
- ☆ 心身共に明るく健康でたくましい子

「光陰矢のごとし~伸びる子ども達~」

校 長 川畑 豪則

校庭のサクラやモミジの葉が色づき始めました。季節は冬を迎え、2学期もあと1ヶ月足らずとなりました。11月9日(土)には、「2回目の運動会」にお越しいただきありがとうございました。快晴の中、どの子も練習した成果を、思う存分発揮し、精一杯走り、全身で表現し、仲間と協力して競技を楽しみ、達成感を得ることができました。2回の運動会の経験は、思い出に残るものとなったようです。これらの経験で得た力を今後の学校生活に生かして欲しいと思います。

子ども達は、さまざまな行事(体験学習・遠足・社会見学・郊外学習・運動会・ふれあい交流給食・修学旅行・音楽会等)を通して、多くのことを学んでいきます。1つひとつの行事を終えていき、子ども達の姿を見てみると、一回り大きくなったように感じます。

11月25日(月)、26日(火)と6年生が奈良・京都へ一泊二日の修学旅行に行ってきました。その時の様子を紹介します。

1日目の午前中には、まず、日本で最初に世界文化遺産に登録され、建設者が聖徳太子と言われている法隆寺を見学しました。続いて、奈良公園に接している東大寺をスタートに、二月堂・三月堂をグループに分かれて見学しました。8人程度のグループそれぞれに、現地のボランティアガイドさんが付いてくださり、資料を用いながら詳しい説明を聞くことができました。大仏殿では大仏の大きさに驚き、大仏の鼻と同じ大きさの木の穴くぐりを体験した子もいました。昼からは、京都に移動し、15代将軍徳川慶喜が大政奉還を行った二条城の鴬張りの廊下を歩いて見学した後、京都水族館では、見学や家族や自分へのお土産の買い物を楽しみました。午後6時頃に旅館に到着。綺麗な旅館での生活が最も思い出に残ったようで、「もう一度泊まりたい!」と繰り返し話す様子が見られました。

2日目は、白砂と石で作られた石庭がきれいな龍安寺(りょうあんじ)を見学した後、学問の神様として親しまれている菅原道真(すがわらのみちざね)をおまつりしている北野天満宮を見学しました。撫でると賢くなる牛の像に多くの児童が集まる様子が印象的でした。知恩院からねねの道、二年坂、三年坂を京都の雰囲気を感じながら歩き、清水寺では、舞台から京都の町の様子を眺め、音羽の滝では「健康長寿の水」と「学問上達の水」を叶えたい願いの水に選ぶ子が多かったです。清水坂でのグループ活動では、大変な混雑の中でしたが、お買い物や食べ歩きを満喫し、集合時間には全員がきちんと集まることができました。最後は、1001 体の千手観音像が並ぶ三十三間堂を見学し、帰ってきました。

ガイドさんの話が始まればさっと耳を傾ける姿、見学がスムーズにできるように周りのことを考え行動する姿が沢山見られ、宮小の子ども達の成長を感じることができた2日間でした。両日とも見学時に雨に降られることはありませんでした。帰路へ向かうバスに乗った瞬間に雨が降ってきて、晴れ男「名古曽先生」のパワーは凄いことも判明しました!